

名倉繁樹

差出人: 名倉繁樹 [REDACTED]
送信日時: 2010年4月12日月曜日 20:08
宛先: [REDACTED]
件名: FW: 国際津波シンポジウムのご報告

関係各位殿 ←名倉様

東北大学で行われた国際津波シンポジウムの報告が東電から届きましたので転送いたします。
869年貞観の地震に係るポスターの発表が3件あったようです。
波源としては、少し北方にずれたようですが、福島県小高町（福島第一から約15km北方）における津波堆積物が確認されたようです。小高町の津波堆積物に関しては、産総研で追加調査中とのことです。お知らせまで。

-----Original Message-----

From: [REDACTED] [mailto:[REDACTED]]
Sent: Monday, April 12, 2010 4:41 PM
To: 保安院 名倉様
Cc: 本店 土木調査 [REDACTED]; 本店 土木調査 [REDACTED]
Subject: 国際津波シンポジウムのご報告

審査課 名倉様

いつもお世話になっております。
先日お話ししましたとおり、4月10日に国際津波シンポジウムに参加しましたので、以下のとおりご報告いたします。

日時: 4月10日(土)
場所: 東北大学 片平さくらホール
内容:

■869貞観津波に関して

・産総研から2件、東北大から1件のポスター発表がありました。要点は以下の通りです。

○東北大

- ・仙台平野に限定した調査・分析内容を発表。福島県内では新たな情報は追加していない。
- ・津波堆積物基底下の地層の侵食状況を観察し、津波外力を踏まえて波源域を推定した。
- ・産総研モデルと比較すると、北に波源を置いている。

○産総研

- ・小高で新たに堆積物確認（標高はポスターには記載されておらず、質問したが教えていただけなかった）
- ・小高を追加して、昨年提案したモデル8とモデル10をチューニングして津波再計算をしたが、どれもうまくいかない。
- ・小高はいま追加現地調査中。
- ・小高より南でも現在調査中（場所と結果が出る時期を質問したが、教えていただけなかった）。

ということで、まだ波源確定にはもう少し時間がかかる模様です。

■東電ポスターに関して

- ・ 柏崎刈羽の津波評価事例を説明した東電のポスターには、気仙沼市の職員しか来ませんでした。
- ・ 気仙沼市から、「近々、1960年チリ津波の50周年の記念行事をやるので、その会場に東電ポスターを掲示したい。ついてはこのポスターをもらって帰りたい」と依頼され、差し上げました。

以上、よろしくお願いいたします。

=====

██████████ ████████████████████

東京電力株式会社 原子力設備管理部
新潟県中越沖地震対策センター 土木調査グループ
兼土木技術グループ
〒100-8560 東京都千代田区内幸町 1-1-3
phone: ██████████
fax: ██████████

=====